

現地実習①

森林整備・里山保全技術

日時：平成20年1月12日（土） 10:00～15:00

講師：あいち海上の森センター職員・海上の森の会

概況



現地実習の1日目は、海上の森の人工林整備の実習を行いました。雨のため、予定されていた間伐作業は中止し、森林調査とセンター職員によるヒノキの伐採の実演が行われました。

【森林調査】

作業を行う前に、森林の今の状態を知る必要があるということで、森林調査法の一つとして森林内の標準的な場所（標準地）を選び調査するという、標準地調査の説明がありました。代表的な調査項目の樹高、胸高直径、照度について、道具を示しながら説明がありました。

また、枝打ち、間伐等の人工林の手入れの流れの説明がありました。

【現地実習】

4班に分かれ現場へ移動しました。各班4×5メートルの標準地をとり、毎木の胸高直径と樹高の計測調査を行いました。また、センターの職員がヒノキをチェーンソーで伐倒する実演を行いました。周りの木が混み合っていたため、“かかり木”になるハプニングがありましたが、皆の協力により無事に切り出すことが出来ました。

伐倒後、樹高を直接巻尺で測ったところ、伐倒前に計測していた数値とピッタリと当てた班があり、歓声があがっていました。